

令和4年度県当初予算を可決

寒冷を越えて春の
気配が整い、いよいよ
新年度がスタート
しました。皆さま、
いかがお過ごしで
しょうか。

また、持続可能な
行財政運営をめざす
ための「県政改革方
針」もとりまとめた
承認。県庁舎等再整
備事業など大型投資
を一旦凍結し、58事
業を見直し・廃止す
るもので、収支不足
額440億円のうち
約300億円分を改
善しました。

一方、県庁舎の老
朽化や耐震基準の問
題は先送りされたま
まで、職員の安全対
策につながるのか
が心配の声を聞か
れる。新島地域の
企業で構成する新島
連絡協議会から災害
時の避難経路を複数
にしたいとの要望が
加古川土木事務所
に出され、環境への
配慮などを要する
構造形式は、地域を
分断しない高架構造
とすることを基本と
して検討したい。

新型コロナウイルスの災禍は依然拭えませんが、マスク着用や手指消毒など基本的な感染対策を徹底し、一致団結してこの難局を乗り越えていきたいと考えています。

さて、県議会では第357回定例会を2月16日から開会し、延べ43日間の審議を経て、脱・コロナ禍に向けた地域経済の活性化に重点を置いた令和4年度県当初予算などを可決しました。

また、今定例会の冒頭には、新型コロナウイルスの第6波の対応や緊急的な経済対策を盛り込んだ令和3年度2月補正予算を可決し、すみやかに執行しました。自宅療

収支不足額 の解消へ大型投資見直しも

当初予算は一般会計2兆3833億円、特別会計と公営企業会計を合わせた総額は4兆2482億円を計上。過去最大となつた令和3年度に比べ規模ですが、一般会計は中小企業への融資目標額を引き下げたことなどが影響しました。

響し、前年度比で3471億円の減少となりました。



加古郡消防協会出初式。日頃の使命感、団結力に感謝致します(1月9日)

養者や濃厚接触者への24時間体制の相談窓口設置、コロナ収束後の宿泊割引キャンペーンの再開なども盛り込んでいます。

岡つよしが県議会一般質問に登壇

新島の複数アクセス要望どう対応

岡 人工島の新島は4千人を超える出入りがあるが、アクセスは県道東播磨港線の播磨大橋だけで災害時に避難できるのかと心配の声がある。新島地域の企業で構成する新島連絡協議会から災害時の避難経路を複数にしたいとの要望が加古川土木事務所に出され、環境への配慮などを要する構造形式は、地域を分断しない高架構造とすることを基本として検討したい。

保育所等のカウンセラー配置は3年継続すべき

岡 発達障害児等の保育所等への受入れ支援で、カウンセラー配置事業は県の全施設に単年度補助する計画だが、3年は継続して実施してはどうか。

播磨臨海地域道 稲美町内にICの設置を

岡 播磨臨海地域道は、主要幹線道路・港湾との接続、沿線市町との接続等を中心部との接続等を考慮すること、さらに構造形式は、地域を分断しない高架構造とすることを基本として検討したい。

県当局 ICの設置

県当局 3年間かけ

て、3分割して全保育所にカウンセラーを派遣することで調整したい。その効果も考慮し県が先行実施する。

岡つよし県会議員の

フォト・レポート



▲第357回定例県議会での一般質問に登壇した(右に詳報)(2月24日)



▲湊川隧道を視察。定期的に一般公開されています(1月12日)



▲土山交差点の一角の用地買収の合意が得られました



▲新島連絡協議会会長と加古川土木事務所に行きました(2月2日)



▲天満南小学校前に念願の信号がつけました(1月31日)



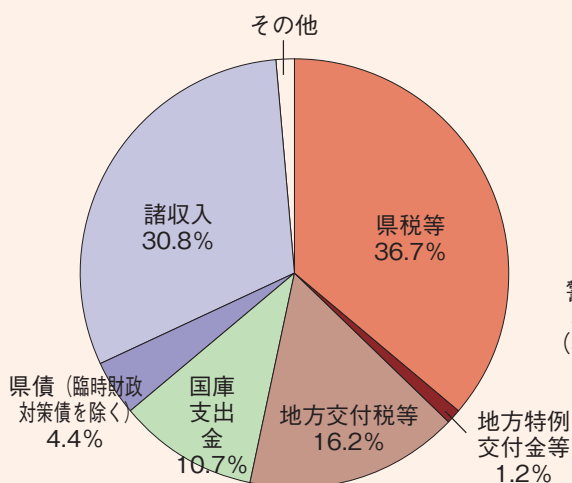
当初予算 一般会計

2兆3833億円を計上

県税1088億円増、地方交付税は3866億円減

令和4年度県当初予算一般会計の概要

【歳入】

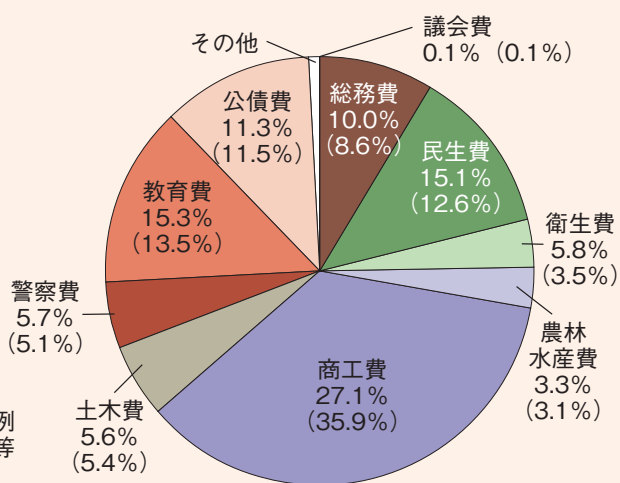


令和4年度県当初予算の一般会計は、2兆3833億円を計上。歳入で、県税は前年度から1088億円増となる8735億円を確保。地方交付税は3866億円と前年度比で19.4%減額しました。

歳出は、行政経費が1兆2514億円。

【歳出（目的別）】

※カッコ内は令和3年度予算歳出の構成比



投資的経費は1811億円で、県政改革方針による見直しで県単事業を含む普通建設事業費が142億円縮小しました。

借金である県債の残高は4兆9186億円。震災関連の県債残高は約2158億円と依然高い水準にあります。

コロナ対策最優先課題に

今回の当初予算では、新型コロナ対策を最優先課題に設定。最大1400床の病床確保が可能な空床補償予算を充て、宿泊療養施設や酸素供給装置の確保など第6波の対応に全力を注ぎます。

重点施策は、「新たな価値を生む経済の構築」「安全安心社会の先導」「未来を創る人づくり」「個性を磨く地域づくり」「県政運営の改革」の5本柱を設けました。新規事業で「SDGs未来都市」の認定に向けた計画策定、近隣の府県と連携を広げる新たな観光戦略づくり、船上での会議スタイル「クルージングMICE」の実証実験などを打ち出しています。

岡つよしにご意見・ご要望を！

岡つよし事務所

〒675-1112

兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3

☎ 080-4398-6173

E-mail: info@oka-tsuyoshi.com

新年度県当初予算・主な事業

新型コロナウイルス感染症への対応

■大学など専門機関と連携した感染症対策機能の強化
 ■県感染症情報共有化システムの本格運用で保健所設置市も含む全県データの共有
 ■宿泊療養施設の確保
 ■感染拡大傾向時に希望者に無料PCR検査、高の支給 など

■民間人材や応援職員を含めた人員体制の充実で保健所などの体制整備
 ■県独自の大規模接種会場を設置、市町の集団接種会場への医療従事者派遣
 ■生活困窮者自立支援金

産業競争力の強化、人材の確保・育成

■若者が起業ノウハウなどを学ぶ「ひょうごスタートアップアカデミー（仮称）」の開設
 ■SDGsの達成に取り組み中小企業の「推進宣言」を登録して支援
 ■商店街活動に意欲を持つ若者や女性に空き店舗での新規出店を支援
 ■商店街の空き店舗を活用した地域コミュニティ拠点づくり
 ■中小企業の制度融資の運用で5千億円確保
 ■テレワーク導入・定着までを総合的にサポートするセンターを設置
 ■ホテル・旅館のバリアフリー改修の設計・工事費を補助 など

農林水産業のさらなる振興

■小規模産地の出荷市場を関西圏に拡大し県産品の流通を増加
 ■小規模産地による規模拡大に対し、農業機械などの購入経費を補助
 ■麦・大豆・飼料用米など
 ■学校給食における県産食材の供給拡大
 ■但馬牛改良手法にゲノム情報解析を取り入れて良質な但馬牛を増頭 など
 ■施設の木質化に要する経費支援の対象施設を病院や商店街など多数利用施設にも拡充
 ■林地残材の活用ビジネスモデルの検討・確立 など

土山駅北側・天満大池バイパス等の整備